

授業科目 理学療法ゼミⅠ

【担当教員名】 椿 淳裕（他 17 名）		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 4年次の科目である卒業研究と臨床実習ⅢⅠⅡに向けての準備段階として、および専門基礎分野の知識の確実な修得を促すため、各担当教員のアドバイスを受けながら主体的なゼミ活動を実施する。ゼミは希望する研究テーマを考慮して1ゼミ7,8人程度で構成される。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 卒業研究の研究テーマの決定（理学療法の領域であること）、先行研究の文献や資料（英語の文献を含む）の検索・収集、文献抄読、研究計画の作成、予備実験などを行い、開講時期終盤の中間発表会に向けて計画を練り上げる。 2. 臨床実習Ⅱ（評価実習）で各人が学んだことをゼミ内で共有し合い、検査測定評価や動作分析、基本介入手段、各領域の治療についての幅広い「思考」と「技術」を身につけ、4年次の臨床実習ⅢⅠⅡ（総合実習）に臨めるように準備する。 3. 専門基礎分野の知識の修得を確実とするため、特に「人体の構造と機能及び心身の発達」（解剖学、生理学、運動学など）に重点を置いて、グループ学習により学習習慣を強化する。 4. 学生間で学びあいながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	卒業研究、臨床実習、専門基礎分野のグループ学習を主軸としたゼミ活動			1～4	グループ学習・ゼミ担当教員
2	（文献抄読、研究計画の討議、機器使用の練習、予備実験、動作分析の練習など）			1～4	〃
3	〃			1～4	〃
4	〃			1～4	〃
5	〃			1～4	〃
6	〃			1～4	〃
7	〃			1～4	〃
8	〃			1～4	〃
9	〃			1～4	〃
10	〃			1～4	〃
11	〃			1～4	〃
12	〃			1～4	〃
13	〃			1～4	〃
14	グループ学習のまとめ			3,4	〃
15	卒業研究中間発表会			1,4	発表・学科教員全員
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 （必ず購入する書籍）		クエスチョン・バンク（2013共通問題）第5版	医療情報科 学研究所	メディック・ メディア	2012年6月以降
		クエスチョン・バンク（2013PT専門問題）第5版	医療情報科 学研究所	メディック・ メディア	2012年6月以降
参考書		新潟理学療法学会（卒研論文集）第1巻（H16）～第8巻（H23）			最新の巻を配布（巻末に論文規程あり）
その他の資料		動画でみる臨床動作分析のポイント（理学療法24巻（8号））			2007・ゼミ担当教員が保管
【評価方法】		【履修上の留意点】			
ゼミ活動への参加状況、卒業研究中間発表会に向けての取り組み、定期試験（専門基礎分野）		前期に研究テーマの希望をアンケートで集め、4月以降にゼミ構成を発表する。同じゼミの4年生の臨床実習後セミナーには授業と重ならない限り必ず参加すること。			